


VL110 series CONTENTS

- | | | | |
|---|------------------------------|----|-------------------------------------|
| 1 | 電池取り付け方法 | 13 | T2X モデル取り付け方法 |
| | 1 ヘッドユニット | 13 | トルピード&マグネット |
| | 2 WL ワイヤレススピードトランスミッター | 18 | T2X受信マウント |
| | 2 トルピード | 19 | ヘッドユニット |
| | 3 ハートレートトランスミッター (HR モデルのみ) | 19 | トルピード認識方法 |
| 4 | 取り付け方法 | 21 | 取り付け確認テスト |
| | 4 HD モデル取り付け方法 | 22 | ハートレートトランスミッターの取り付け方法
(HR モデルのみ) |
| | 4 スピードセンサー&マグネット | 23 | 保証規定 |
| | 7 マウントブラケット | 24 | カスタマーサービスセンター |
| | 8 ヘッドユニット | | |
| | 9 WL モデル取り付け方法 | | |
| | 9 WL ワイヤレススピードトランスミッター&マグネット | | |
| | 11 WL ワイヤレス スピード 受信マウント | | |
| | 12 ヘッドユニット | | |

INSTALLATION

NETT

重 要

- Vetta VL110シリーズのスマートライト サイクルコンピューターは精密機器です。Vetta社は自転車販売店での取り付けを推奨しております。使用方法、セットアップ不良による製品の不具合は保証対象外になりますのでご注意ください。使用方法やセットアップに関してご不明な点がありましたらお買い上げの販売店にお問合せ下さい。
- 注意事項は必ずお読みください “”
- 製品仕様やデザインは予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルにご不明な点がありましたらカスタマーサービスセンターまでお問合せ下さい。

注意事項

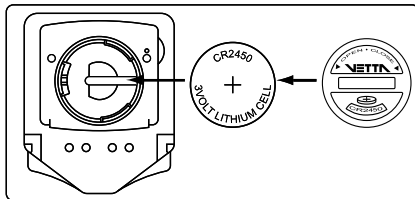
- タイプの違う電池を使用すると破裂する危険があります。
- 電池の廃棄は取扱い説明書に従って下さい。

電池取り付け方法

ヘッドユニット

VL110シリーズのヘッドユニットは CR2450、3ボルト リチウムボタン電池を使用します。

重要 サイクルコンピューターのほとんどの作動不良は電池消耗が起因しています。
詳細はトラブルシューティングを参照下さい。



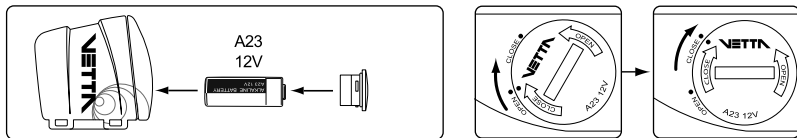
1. コイン等を使用して電池キャップを取り外して下さい。
2. 新しい電池のプラス(+)側を表にして挿入して下さい。取り付け作業中に電極端子に触れたり曲げたりしないようにご注意下さい。
3. 電池キャップのOリングが破損しないようにしっかりとねじ込んで閉めてください。

▲ 注意: 電池キャップを破損しないように閉めすぎにご注意下さい。

WL ワイヤレス スピード トランスミッター

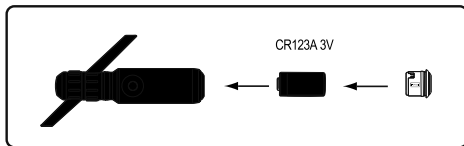
WL ワイヤレススピードトランスミッターは A23、12ボルト電池を使用します。
電池のプラス(+)側を上にして挿入し電池キャップ を閉めてください。

⚠ 注意:電池キャップが正しくしっかりと取り付けられていることをご確認下さい。



トルピード

トルピードは CR123A、3ボルトリチウム電池を使用します。コイン等でトルピードの下側にある電池キャップを取り外してプラス(+)側を内側方向に挿入し電池キャップを閉めて下さい。

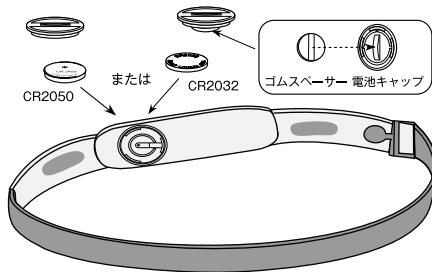


ハートレート トランスミッター (HR モデルのみ)

Vetta社のハートレートトランスミッターは付属のCR2050またはCR2032(ゴムスペーサー) 3ボルト リチウムボタン電池を使用します。

重要 CR2032電池を使用する場合は必ずゴムスペーサーを電池キャップ内側にセットして下さい。

注意 電池キャップの破損防止のため、締め込み過ぎにご注意下さい。

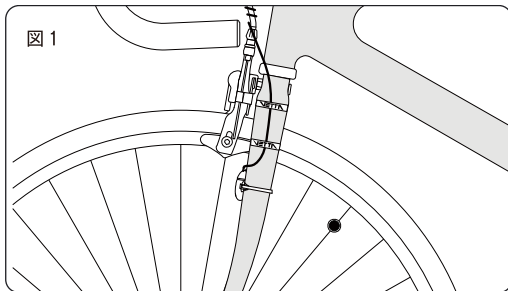


取り付け方法

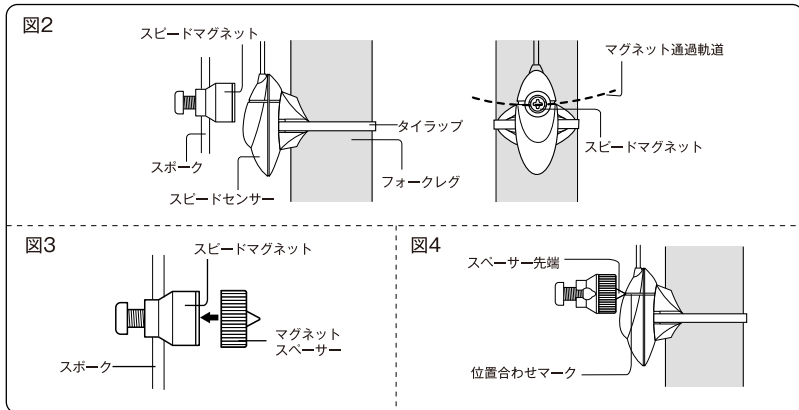
HDモデル取り付け方法

スピードセンサー&マグネット

- 1.タイラップを使用してスピードセンサーとブラケットマウントを仮固定して下さい。
スピードセンサーは走行中の破損防止のため、フォークレグの上方位置に取り付けること
をお勧めします。(図1)



2. スピードセンサーの位置合わせマーク上に速度マグネットが通過するように取り付けして下さい。
(図1、2)
3. マグネットスペーサーを速度マグネットに取り付けます。(図3)
4. マグネットスペーサーの先端が軽く触れるように速度センサーの位置を調整して下さい。(図4)

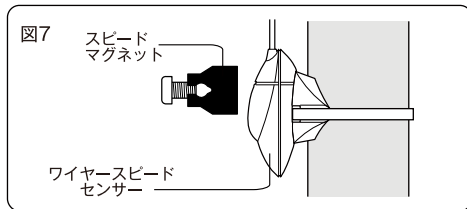


5.センサーワイヤーをフォークブレードに沿わせてテープで固定して下さい。余ったワイヤーは少し遊びを残してブレーキアウターに巻き付けて下さい。

⚠ 注 意：サスペンションフォークにスピードセンサーを取り付ける場合は、フォークが完全に伸びている状態で十分にワイヤーがマウントブラケットに届くことを確認して下さい。余ったワイヤーはブレーキアウターに巻き付けて下さい。

6.タイラップを締め込んでセンサーを最終位置に固定して下さい。

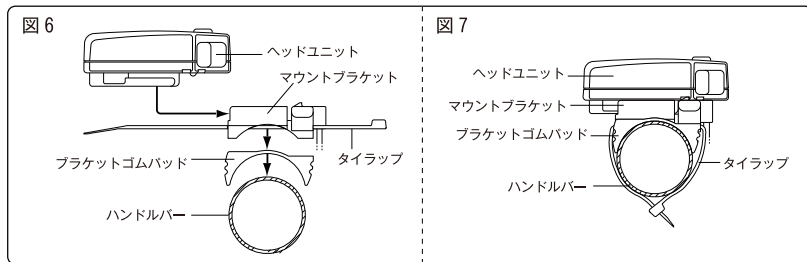
7.マグネットとセンサーの位置が変わらないようにスペーサーを取り除いて下さい。(図5)



重要 センサーの最終固定作業は締め込み工具等を使用しないでタイラップを締め込んで下さい。必要以上に強く締め込みますとセンサーを破損する可能性があります。

マウントブラケット

- 1.ワイヤーマウントブラケットとブラケットマウントパッドをタイラップでハンドルに取り付けて下さい。(図6)
- 2.タイラップを締め込んでマウントブラケットをハンドルに仮固定して下さい。(図7)

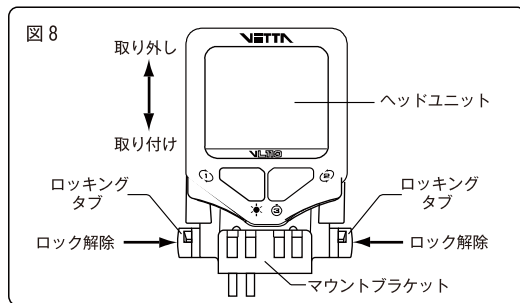


▲ 注意:

- 1.タイラップを使用してワイヤーをフレームやフォーク、ハンドルバー、ステムに固定しないで下さい。ワイヤーが断線する可能性があります。
- 2.マウントブラケットの固定用タイラップは必要以上に強く締め込まないで下さい。ブラケット自体が変形してヘッドユニットとの接続に影響することがあります。

ヘッドユニット

- 1.ヘッドユニットをマウントブラケットに前方から後方へ挿入して固定して下さい。
- 2.ヘッドユニットを "カチッ" という音が出る位置まで挿入して下さい。ヘッドユニットとマウントブラケットの電極端子が接続されます。
- 3.ヘッドユニットをブラケットから取り外す場合は、ロックングタブを左右から内側に押し、ヘッドユニットを前方へスライドさせて下さい。(図 8)



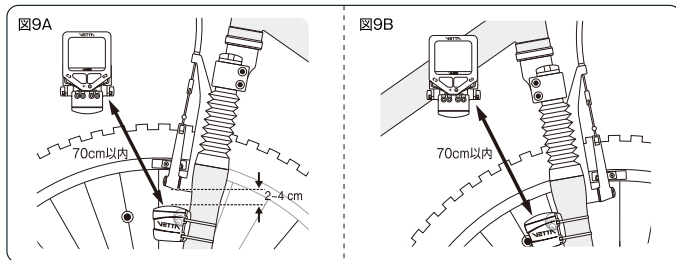
WL モデル取り付け方法

WL ワイヤレス スピードトランスミッター&マグネット

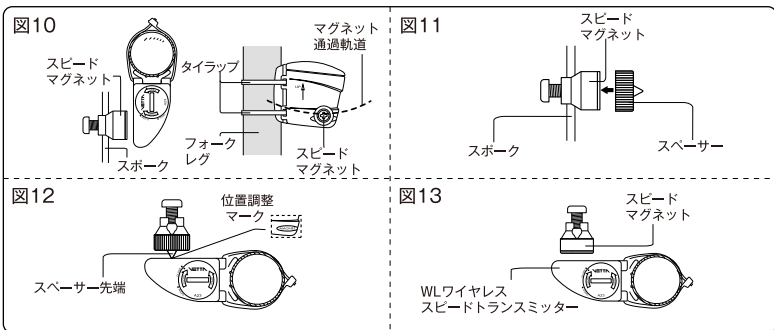
WL モデルはワイヤレス スピードトランスミッターと特別な受信マウントを取り付けてワイヤレスで作動するようにデザインされています。ワイヤレス信号を最大受信するため、トランスミッターは受信マウントとヘッドユニットと同じ側に設定して下さい。

1. 付属のタイラップを使用してワイヤレス スピードトランスミッターとパッドをゆるく、左フォークレグ前 (図9A) もしくは右フォークレグ後 (図9B) に取り付けして下さい。

重要 ワイヤレス信号を最大受信するためにトランスミッターとヘッドユニットの距離は70cm以内であることを確認して下さい。また、トランスミッターはブレーキからの信号妨害を避けるため2~4cm (以上) はブレーキから離して下さい。



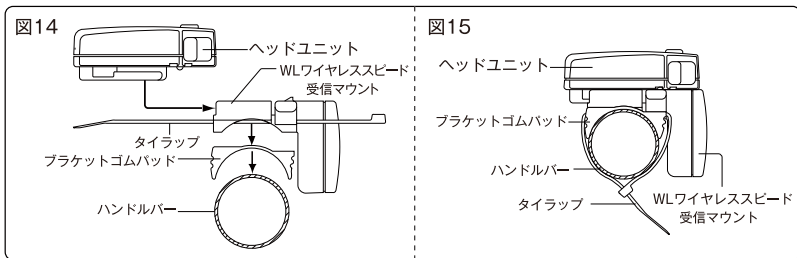
- 2.スピードマグネットをトランスミッター位置調整マーク上を通過するようにトランスミッター
取り付け側のスポークに固定して下さい。(図9、10)
- 3.マグネットにスペーサーを取り付けて下さい。(図11)
- 4.位置調整マークにマグネットの先端が触れるまでトランスミッターを移動、回転させて下さい。(図12)
- 5.タイラップを締めこんでトランスミッターを最終位置に固定して下さい。
- 6.マグネットとトランスミッターの位置が変わらないようにスペーサーを取り除いて下さい。(図13)



WLワイヤレス スピード受信マウント

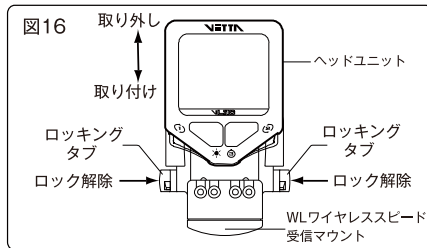
- 1.WLワイヤレス スピード受信マウントとブラケットゴムパッドを付属のタイラップでハンドルバーのトランスミッター側に取り付けて下さい。（図14）
- 2.タイラップを締め込んでマウントブラケットを仮固定して下さい。（図15）

▲ 注 意：マウントブラケットの固定用タイラップは必要以上に強く締め込まないで下さい。
ブラケット自体が変形してヘッドユニットとの接続に影響することがあります。



WL モデル ヘッドユニット

- 1.ヘッドユニットをマウントブラケットに前方から後方へ挿入して固定して下さい。
- 2.ヘッドユニットを "カチッ" という音が出る位置まで挿入して下さい。ヘッドユニットとマウントブラケットの電極端子が接続されます。
- 3.ヘッドユニットをブラケットから取り外す場合は、ロックングタブを左右から内側に押し、ヘッドユニットを前方へスライドさせて下さい。(図16)



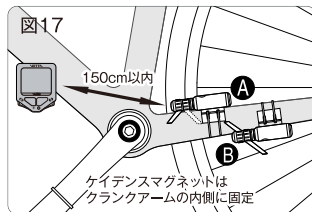
T2Xモデル取り付け方法

重 要: サイクルコンピューターはIDラニング操作を終了したトルピードのみ認識することができます。この機能は他トランスミッターとの混信を防ぐことができます。
(ページ19、トルピードの認識方法を参照下さい。)

トルピード&マグネット

トルピードに電池をはじめてセットしたとき、または新しい電池に交換した場合に5分間取り付け位置確認機能が働きます。この間にトルピードにマグネットから信号を受信するとライトリングが緑色に点灯します。この機能はトルピードのボタンを押すと再起動することができます。

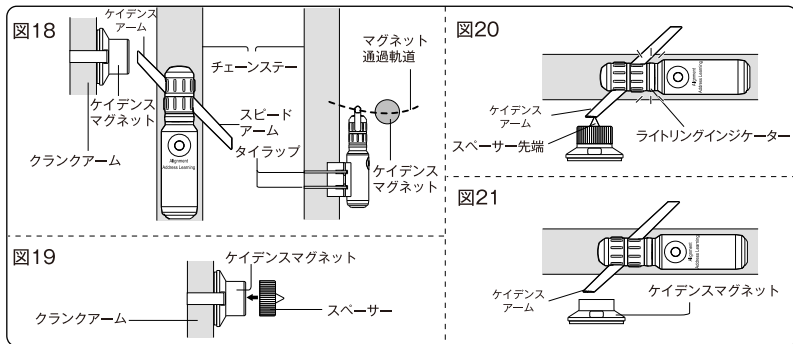
1. 付属のタイラップを使用してトルピードとトルピードシムを軽く上方 **A** または下方 **B** に固定します。(図17) 信号を最大受信するために、トルピードはできる限りヘッドユニットに近い位置にして下さい。トルピードとヘッドユニットの距離は150cm以内であることを確認して下さい。



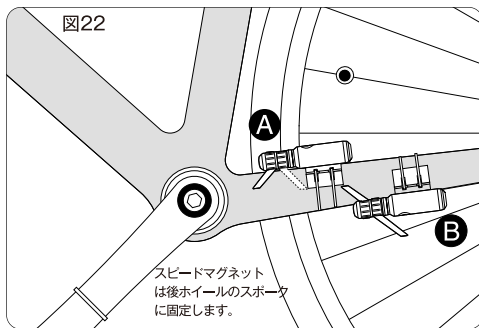
注 意:

スピードアームのスポーク
による破損防止のために必ず
アームのセット方向は下方向
にして下さい。

- ケイデンスマグネットをタイラップを使用してケイデンスアーム上を通過する位置に左側クランク内側に固定して下さい。(図17&18)
- ケイデンスマグネットにスペーサーを取り付けて下さい。(図19) 4.トルビードをケイデンスアーム先端がスペーサーに当たる位置まで移動させて下さい。トルビードのライトリングインジケータはマグネットが通過すると緑色に点灯します。(図20)
- マグネットとケイデンスアームの間隔が変わらないようにスペーサーを取り除いて下さい。(図21)



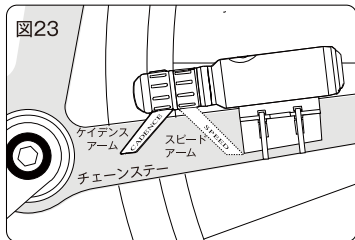
- 6.スピードマグネットの取り付け方法は、ケイデンスマグネットをケイデンスアームから離れるようにクランクを回転させます。ライトリングインジケーターがスピードマグネットのみによって点灯していることを確認します。
- 7.スピードマグネットをスポークに固定しトルビードのスピードアーム通過位置上をマグネットが通過するように固定します。(図22)



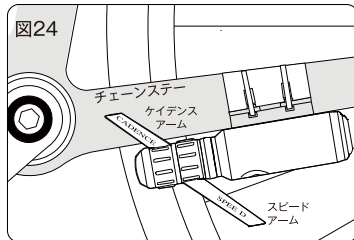
⚠ 注意:
スピードアームのスポーク
による破損防止のために必
ずアームのセット方向は
下方向にして下さい。

8.回転しているスポークからトルピードのスピードアームの破損を防ぐには必ずアームを
下方にセットするようにして下さい。(図23、24)

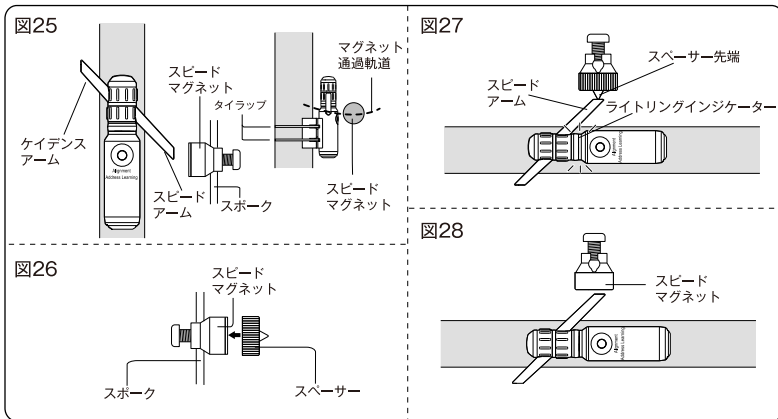
チェーンステー上方の場合



チェーンステー下方の場合



9.ステップ3からステップ6を繰り返して下さい。(図25から図28)

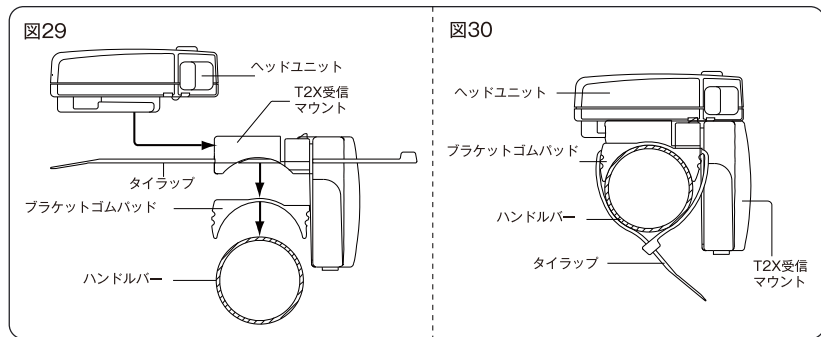


10.トルピードを最終位置にタイラップで固定します。

T2X受信マウント

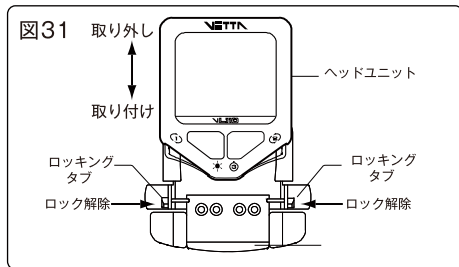
前述と同じ方法で取り付けして下さい。(ページ11、WLワイヤレススピード受信マウントを参照下さい。)

▲ 注 意：マウントブラケットの固定用タイラップは必要以上に強く締め込まないで下さい。
ブラケット自体が変形してヘッドユニットとの接続に影響することがあります。



ヘッドユニット

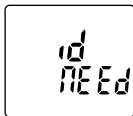
前述と同じ方法で取り付けして下さい。（ページ12、WLモデル ヘッドユニットを参照下さい。）



トルピードの認識方法

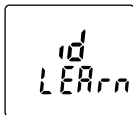
- 1.トルピード付属のVL110シリーズ サイクルコンピューターの場合は認識作業は工場出荷時にすでに行われています。
- 2.新しくアップグレード等でトルピードをセットする場合はIDラーニング操作を実施して下さい。
- 3.2台目以降の自転車用に新たにセットする場合はNOMセットアップモードでBIKE II を選択していることを確認してIDラーニング操作を実施して下さい。
(ページ11、デュアルバイクのNOMセットアップ方法を参照下さい。)

IDラーニング操作



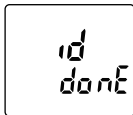
ステップ1:サイクルコンピューターをT2X受信マウントにセットして下さい。

ステップ2:画面に"iD NEEd"表示確認後にトルビード側のボタンを3秒間押しして下さい。トルビード側のライトリングインジケーターが2秒間赤く点灯します。



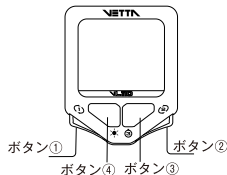
ステップ3:サイクルコンピューターはこの操作中は3秒間"iD LEArn"を表示します。

ステップ4:正常に設定が完了すると画面に"iD donE"が表示されて短いピープ音が2回鳴ります。サイクルコンピューターは設定を開始する前の画面に戻ります。



設定に失敗した場合

サイクルコンピューターが常に"iD NEEd"を表示している場合はトルビードと各マグネットの設置距離とヘッドユニット本体の接続を再確認して下さい。上記事項を再確認しても設定が出来ない場合はお買い上げいただきました販売店へお問合せ下さい。



重要

IDラ-ニング操作を再起動する場合は乗車/合計(RT/TT)時間タイマーをオフにしてボタン②&④を同時に2秒間押しして下さい。

取り付け確認テスト

すべての取り付け作業が終了した時点でサイクルコンピューターが正常に作動しているかテストします。

センサー/トランスミッターの取り付け確認テスト(HD/WLモデル):

1. ボタン②でサイクルコンピューターの画面をRT/TTモードにします。
2. RT/TTタイマーが可動しているか、またはボタン③を押してタイマーをゼロリセットして下さい。
3. ボタン②で画面をSPD/DSTモードにします。
4. 前輪を持ち上げて回転させます。2、3秒で速度が画面に表示されます。速度が表示されない場合はヘッドユニットとマウントの接続及びマグネットとセンサー/トランスミッターの位置と間隔を確認して下さい。これらを確認しても速度が表示されない場合はお買い上げの販売店にお問合せ下さい。

トルビードの取り付け確認テスト(T2X モデル):

1. ボタン②でサイクルコンピューターの画面をRT/TTモードにします。
2. RT/TTタイマーが可動しているか、またはボタン③を押してタイマーをゼロリセットして下さい。
3. ボタン②で画面をSPD/CADモードにします。
4. 実際に自転車に乗車しクランクを回転させて速度とケイデンスの表示を確認して下さい。速度、ケイデンスが表示されない場合はマグネットとトルビードの位置と間隔を確認して下さい。

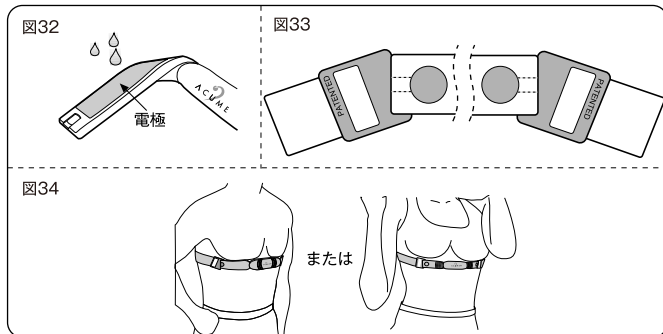
重要 マグネット固定ボルトとすべてのタイヤップがしっかりと締まっているか確認して下さい。

- ? Tips:トランスミッターまたはハンドルバー側の受信マウントの角度を少し回転させて調整すると信号の送受信感度が改善することがあります。フレームやパイプ形状が特殊な自転車の場合に有効な調整方法です。

ハートレートトランスミッターの使用方法 (HR モデルのみ)

1. トランスミッター電極部分に少量の水滴を付けて下さい。(図32)
2. 調整ベルトをハートレートトランスミッターに取り付けて下さい。(図33)
3. ハートレートトランスミッターを胸部に装着して下さい。
4. 調整ベルトの長さを適宜に調整して下さい。(図34)

重要 サイクルコンピューター側がハートレートトランスミッターからの信号を受信すると画面のハートアイコンが点滅します。



保証規定

当社保証規定により欠陥のある製品の修理、交換を行います。

当初のご購入者の方に対し、VETTAの全製品に関して

ご購入の日から3年間、材料および製品に欠陥が無いことを保証します。

また当社では偶発的、あるいは間接的損害については責任を負いかねます。

お買い上げになったVETTAサイクルコンピューターの機能に

問題がある場合は、VETTA販売店までご連絡ください。

カスタマーサービスセンター

ライトウェイプロダクツ ジャパン株式会社

東京都豊島区南池袋 3 - 1 8 - 3 4

池袋シティハイツ 1 0 2

Phone:03-5950-6002

Fax:03-5956-8028

www.riteway-jp.com

地球を楽しくしたい

RITEWAY
PRODUCTS JAPAN